

学会発表報告 ～第55回日本医学教育学会大会～



センター通信12号でも紹介しましたが、コロナ禍に開発した「ケアプラン作成実習」について7月28、29日に長崎市の出島メッセで開催された第55回日本医学教育学会で発表しました。実習の概要は下段の「論文紹介」をご参照ください。

学生の参加者からも質問を受け、現役の医学生に興味を持ってもらったのが一番印象に残りました。また示唆に富む質問やご意見を頂き今後の改善に繋がたいと考えています。(船元)



2023年7月29日に、出島メッセ長崎で行われた第55回日本医学教育学会にて、「宮崎県における地域枠制度導入後の小児科医数の推移」と題し、地域枠制度導入前後の宮崎大学所属の小児科医や若手の小児科医が県全体占める割合の変化を発表しました。

地域枠制度は様々な議論がありますが、宮崎の小児科においては一定の効果があったことを示すことができ、他県の地域枠担当者からも興味を持っていただきました。(黒木)

出前講義 ～宮崎県立高千穂高校～

令和5年10月19日に、宮崎県立高千穂高校が主催する進路ガイダンスで、『医師を目指す皆さんへ』と題した出前講義を行いました。1回50分(計2回実施)の講義では、「医師になるために必要な資質とは何か?」や「宮崎大学医学部地域枠入試制度の概要説明」についてお話しさせていただきました。

当日は高千穂高校のみならず、近隣の中学・高校からも医師という職業に興味を持っている20名の皆さんが聴講して下さいました。本ガイダンスに参加された方の中から、将来医師になって地元で活躍される方が誕生することを楽しみにしています!(小松)



シンポジウム ～みさと地域医療塾～



2023年11月11日に美郷町で行われたみさと地域医療塾で「地域枠に対する取り組みについて」と題して、現在の地域枠の枠組み、制度や地域枠学生への取り組みを発表しました。自治医科大学の卒業生や市民団体、自治体からの発表もあり、懇親会でも非常に有意義な意見交換を行うことができました。

地域における医療への関心の高さと地域枠への期待をひしひしと感じ、地域医療支援機構大学分室としての責任を強く感じた会となりました。(黒木)

講演 ～未来の医療を語るオールみやざき交流会～

2024年2月29日、宮崎観光ホテルで「未来の医療を語るオールみやざき交流会」が開催されました。宮崎大学5年生に加え、大学教員の先生方のみならず、河野俊嗣宮崎県知事、河野雅行宮崎県医師会長、そのほか多数の関係者にもご参加いただきました。

宮崎県医師会の金丸吉昌理事よりご自身のキャリアを踏まえたメッセージを頂き、宮崎県医師会から医師への支援体制についてもお話しいただきました。

会の中で先輩からのメッセージとして医療人育成推進センター黒木より、学生の皆さんに対しお話しさせて頂きました。これまで学生から受けた様々な質問から、自分の将来像やキャリアについて悩んでいると感じておりましたので、私なりに将来像、キャリアについての考え方をお話ししましたが、今後の参考になれば幸いです。皆さんと一緒に働く日を楽しみにしています。(黒木)

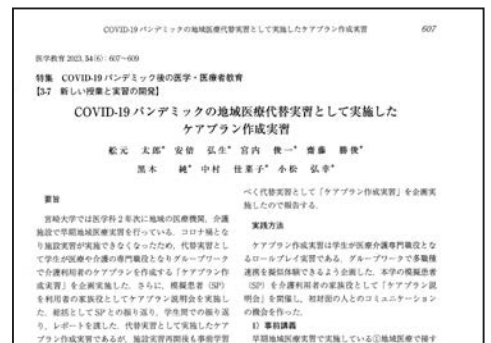


論文紹介 ～日本医学教育学会誌～

「医学教育」誌でコロナ禍の医学教育の工夫や新たな取組を振り返る「COVID-19パンデミック後の医学・医療者教育」という特集が企画されました。本学で行った「ケアプラン作成実習」もそのひとつのため論文を執筆し投稿したところ、受理されました。要旨は下記の通りです。

宮崎大学では医学科2年次に地域の医療機関、介護施設で早期地域医療実習を行っている。コロナ禍となり施設実習が実施できなくなったため、代替実習として学生が医療や介護の専門職種となりグループワークで介護利用者のケアプランを作成する「ケアプラン作成実習」を企画実施した。さらに、模擬患者(SP)を利用者の家族役としてケアプラン説明会を実施した。総括としてSPとの振り返り、学生間での振り返り、レポートを課した。今後も事前学習として実施することで、施設実習の効果が高まることが期待できる。

Kolbが構築した経験学習モデルと照らし合わせても有用な実習に作り上げることができたと思います。実習及び、論文作成にご協力いただいた小松教授をはじめ医療人育成推進センターのスタッフや模擬患者の皆様がこの場を借りて御礼申し上げます。(船元)



臨床医学教育部門 ～キャリアカフェ再開～



「医療安全・東洋医学」で医療人育成推進センターにまわってきたクリクラの臨床実習生(医学)にキャリアカフェをはじめました。自分のキャリアもままならないので高尚なものではできません。雑談の延長程度です。

学生時代から進路が全くブレない人もいれば専攻医登録まで悩む人もいるでしょう。どちらもアリです。決め手になるような情報が伝えられるわけではありませんが疑問や不安がひとつでも減ればいいと考えています。(船元)

医療シミュレーション教育統括部門 ～令和5年度オープンキャンパス～



2023年8月10日、宮崎大学医学部オープンキャンパス2023において、当センターは医療シミュレーターを用いた模擬診察実習を行いました。県内外から25名の高校生に参加していただき、また病院見学に来ていたオランダ在住の日本人高校生も参加して計26名の参加となりました。

採血、外科縫合、気道管理、内視鏡+腹部エコー、バイタル評価の5つのブースに分かれて、各参加者がこのうち3つのブースを体験するという実習を行っております。参加者の内訳としては県内17名、県外8名で、高校1年生が7名、高校2年生が15名、高校3年生が3名でした。多くの高校生は本学医学科への入学を希望していたり、医学科進学を希望している高校生でした。医学科進学を希望しているとはいえ、高校生にとっては実際の医療器具に触れるのは初めての経験であり、開始当初は皆さんかなり緊張した面持ちでした。

インストラクターのセンター教員は高校生たちの緊張をうまくほぐしながら、それぞれのブースでの指導を行いました。いずれのブースも実際に手技を行うものでしたが、手技が成功した時には笑顔もみられ、充実した時間を過ごされていたようです。終了後のアンケートでは皆さん医学科進学への思いをさらに強くされたこともわかりました。診察シミュレーターを用いた診察実習は医学教育においてどんどん進化していますが、未来の医学生たちにその一端を見せることができたことは我々センター教員にとっても貴重な経験となりました。

参加した高校生たちが将来本学に入学して、日本の医療の未来のために頑張ってくれることを期待しております。(齋藤)



オランダ在住高校生の医療体験実習



オランダ在住高校生 齊藤あやなさんが、高校の早期職場体験実習先として宮崎大学医学部での実習を希望されたため、2023年8月9日～10日に医療人育成推進センターが実習受入とコーディネートを行いました。

1日目は附属病院内視鏡室の検査見学と救命救急センターでの見学を行いました。2日目はリハビリテーション室や血液浄化療法部での診療見学後、本学で開催していましたオープンキャンパスに参加していただきました。県内・外の高校生と共に熱心に取り組み、同じグループワークの学生と連絡先を交換していました。数年後、医学部生として会えることを楽しみにしております。(舟橋)



医療人キャリア支援部門 ～復職支援実習～

2024年3月15日に、臨床技術トレーニングセンターにて、「第11回女性医師・看護師のための復職支援プロジェクト」を開催いたしました。

今回は、4月から本学医学部附属病院へ復職する9名の看護師を対象に、①静脈採血、②静脈路確保、③バイタルサイン、④バルーンカテーテル留置、⑤肺音、⑥一次救急蘇生の5つの項目を、医療人育成推進センター所属の医師8名と看護実践教育部門、看護部看護実践支援室の看護師2名の指導体制で行いました。

実習後のアンケートでは、参加者全員から、復職後に非常に役立つ内容だったと回答いただきました。

医師・看護師双方の視点からの実習により、安心感が得られ、実際の勤務をイメージしながら、復職への準備ができたのではないかと思います。



受講者の声

2年9ヶ月のブランクがあり、復職に向けて不安が多々ありましたが、今回の復職支援実習に参加して、幾分か感覚を取り戻すことができました。また、同時期に復職する看護師の方々とコミュニケーションを取ることができたのも意義があると感じました。今回の学びを4月からの勤務に活かしていきたいです。

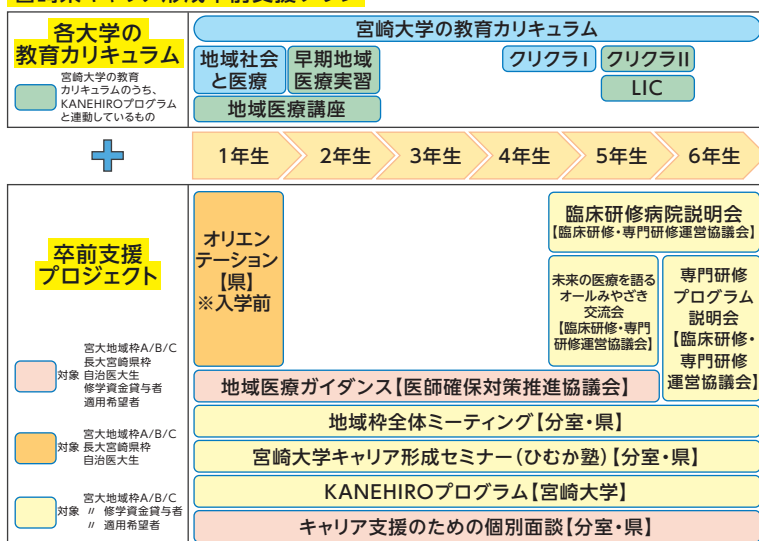
宮崎県地域医療支援機構大学分室活動報告

「地域枠学生への新たな取り組み」～宮崎県キャリア形成卒前支援プラン～

2018年の医療法改正により、地域枠卒業生に対して各都道府県での「キャリア形成プログラム」の適用が開始され、2023年度には地域枠入学生に対し、その入学時の意思を継続できるよう充実した教育を行うため、各都道府県において「キャリア形成卒前支援プラン」が策定されました。宮崎県では、以前より地域枠入学生に対し、様々な取り組みを行っていましたが、整理・見直しを行い、新たに6年間継続する学びの場として、4月から「宮崎大学キャリア形成セミナー（通称：ひむか塾）」を開講しました（図：卒前支援プラン全体の図）。宮崎県地域医療支援機構宮崎大学分室が中心となり企画、運営していますが、大学病院を中心に、様々な診療科の先生方にご協力頂いています。

ひむか塾では①キャリア教育、②知識・技能教育、③グループワークを主な3つの柱として実施しています。来年度以降は、これらの内容をさらに充実させるとともに、地域枠学生のみならず、一般入試枠の学生にも参加してもらえるよう計画していますので、学生の皆さんは積極的な参加をご検討ください。また、今年度は各診療科の先生方に多大なご協力を頂き心より感謝申し上げます。今後ともご協力をお願いいたします。

宮崎県キャリア形成卒前支援プラン



宮崎大学キャリア形成セミナー（ひむか塾）

ひむか塾（キャリア教育）



キャリア教育では全学年の地域枠入学生を対象に、各科の若手～専門医を取得した医師による講演会、質疑応答を行っています。各診療科におけるキャリアの積み方、専門医取得までの流れ、各年代で従事する医療機関（特にB群：医師少数区域等（延岡西臼杵、日向入郷、西都児湯、日南申間、都城北諸県、西諸）、C群：へき地の公的医療機関）、診療を含めた1日、1週間の流れ、結婚・妊娠・出産などのライフイベント、プライベートについて、より具体的に将来がイメージできる内容になっています。

Google Formを利用したリアルタイムでの質問タイムも設けていますので、普段の講義や実習では聞けなかったことを世代の近い先生に聞けるチャンスです。来年度からは、本学医学科学生全員を対象に開催しますので、ぜひ将来のキャリア選択に活用ください！（宮本）

ひむか塾（基礎）



ひむか塾基礎編では主に低学年向けに、「座学と実習の橋渡し」を目的とした知識・技術教育を計画しています。2023年11月29日には第1回ひむか塾基礎編を開催し、静脈採血のハンズオンセミナーを行いました。

地域医療支援機構大学分室医師に加え、日々総合内科医としてご活躍されている宮崎大学地域医療・総合医療医学講座所属の梶田一旭先生と枝元真人先生にもご協力いただき、有意義な学びの場になりました。来年度は、地域医療ガイダンス等の早期実習に役立つハンズオン・講義を計画しています。学生の皆さん！臨床現場で生きる知識や技能をひむか塾基礎編で習得しましょう！（中村）

ひむか塾（実践）



ひむか塾実践編では高学年向けに「実習と臨床の橋渡し」をテーマとした知識・技術教育を行っています。現在は卒後臨床研修センターの協力の下、これまで研修医限定で開催していた実践的な講義と一緒に参加してもらっており、実習や国家試験の勉強よりも一歩進んだ臨床的な知識を学ぶことができます。学生の段階では難しい内容もありますが、今の勉強が臨床につながっていることを実感でき、知識の定着やモチベーションUPにつながると好評です。もちろん低学年の学生も参加可能で、内容は難しかったが医学部に来た実感が湧いて、今後の学習に意欲が出たという感想を聞きます。

ぜひ皆さんも実践編に参加して、一段階上の学習にチャレンジしてみませんか？（明利）

全体ミーティング&交流会



2023年度は6月、12月に全体ミーティングを行いました。7月の全体ミーティングでは前半の説明会には学生124人、関係者25人に参加していただきました。後半には、研究者育成コースセミナーと共催でスタンフォード大学の池野文昭先生にご講演頂き、自分の将来に大きなヒントをもらった学生も多かったことと思います。

12月の全体ミーティングでは、学生107人、関係者30人に参加していただき、全学年交えてのグループワークを行い、最後に学生食堂を貸し切って全学年での交流会を行いました。初めての試みでしたが、非常に盛り上がり、これまで話したことのない後輩、先輩と交流を深めることができ、みなさん楽しく過ごせたことと思います。来年度も全学年での交流会を企画予定ですので、奮ってご参加ください。（黒木）



宮崎から医師を目指そう!応援フォーラム

2023年10月15日に、ニューウェルシティ宮崎で、令和5年度「宮崎から医師を目指そう!応援フォーラム」を開催し、中・高校生106人、保護者79人にご参加いただきました。

今回は、第1部、医師になるまでの道のりを知ろう!と題して、医療人育成推進センター小松弘幸教授に医師のキャリアの全体像、機能制御学講座薬理学分野武谷立教授、研修医の益山先生、5年生の岩崎さん、2年生の三重野さんにこれまでのご自身のキャリアをお話してもらいました。



第2部は宮崎で医師を目指そう!と題して、地域枠入試制度、それに伴う、宮崎県キャリア形成卒前支援プラン、宮崎県キャリア形成プログラムの説明、KANEHIROプログラムの説明を行いました。

第3部では、何でも質問してみよう!と題して、第1部の登壇者に加え、県立宮崎病院中村豪先生、地域医療支援機構大学分室中村先生、明利先生、宮本先生にご登壇頂き、高校生からの様々な質問に答えていただきました。非常に盛況で有意義な会となりました。いつかこのフォーラムに参加された高校生と一緒に学び、働くことを楽しみにしています。(黒木)



令和6年度地域枠合格者説明会

令和6年2月19日に、宮崎県防災庁舎で地域枠合格者説明会を行いました。宮崎大学地域枠A・地域枠B・地域枠C(日本のひなた枠)、長崎大学宮崎県枠で入学する学生、また、その保護者に対し、宮崎大学地域枠、長崎大学宮崎県枠の意義、医療法での位置づけ、入学者に将来期待される役割について説明し、宮崎県キャリア形成卒前支援プラン、宮崎県キャリア形成プログラムの詳細について説明を行いました。

入学する本人のみならず、保護者の方にも参加いただき非常に有意義な説明会となりました。皆さん、宮崎の医療に対して強い使命感を持っていただけたと思います。入学後、一緒に宮崎の医療のために頑張りましょう。(黒木)



宮崎県政番組「みやざきゲンキTV」～おしえてケンチャー!～



令和5年7月23日(日)、「みやざきゲンキTV(UMK)」おしえてケンチャー!のコーナーにて、「宮崎大学地域枠」について取り上げていただきました。

今回は、地域枠学生を対象とした宮崎県キャリア形成卒前支援プランの1つである「宮崎県キャリア形成セミナー(ひむか塾)」の紹介をしました。本学から宮崎県地域医療支援機構大学分室の中村先生、医学科1年生の高橋さん、竹森さん、荒川さん、5年生の日高さんが出演しています。詳しい内容は、下記のURLまたはQRコードからチェックしてみてください。

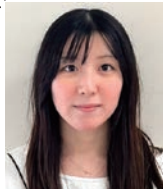
<https://www.umk.co.jp/genki/20230722-1.html>



医学生サポート事業～東京慈恵会医科大学との交換留学報告～

医学生サポート事業(東京慈恵会医科大学実習経費支援補助)を活用して、令和5年度も8名の地域枠学生が実習に参加しました。

今回は、令和5年11月20日から12月15日まで内科(消化器・肝臓)の臨床実習に参加した医学科5年の佐藤さん、令和6年1月9日から2月2日まで感染制御科の臨床実習に参加した医学科5年の坂元さんからメッセージをいただきました。(舟橋)



佐藤 美羽さん(内科)

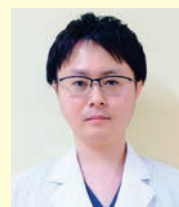
私は消化器肝臓内科で一ヶ月実習させていただきました。火曜日の教授回診では担当患者について簡潔に病歴と入院後経過、これからの方針を暗記してプレゼンする機会を設けていただきました。準備をする中でより理解を深めることができました。また医局会では先生方も慈恵医大の四年生もみな質疑応答を英語で行う場面があり、圧倒されました。実習以外の東京での生活も楽しく過ごせました。興味のある方は行ってみてください。



坂元 希良莉さん(感染制御科)

私は感染制御科で実習しました。主にHIVや輸入感染症について、外来、診察、治療を通して学びました。また日々の講義では抗菌薬について詳しく教えていただき大変勉強になりました。4週間を通して、毎日新鮮な気持ちで実習を行うことができました。他にも、先生方や学生さんと交流を深めたり、休日には観光したりと充実した日々を過ごすことができ、とても楽しかったです。興味がある方はぜひ行ってみてください!

新任教員紹介



明利 聡瑠

2023年6月より医療人育成推進センターに所属となりました明利聡瑠です。延岡で生まれ、幼児期を美郷町で過ごして医師を目指し、大淀小・大淀中・宮崎西高を卒業して、地域枠で宮崎大学に入学した生粋の宮崎人です。現在は小児科医として、特に小児の内分泌・代謝・糖尿病を専門に働いています。

教育の現場を通して皆さんのキャリア形成をサポートできるよう頑張ります。よろしくお祈りいたします。



宮本 美由貴

2023年7月より医療人育成推進センターに所属となりました宮本美由貴です。宮崎第一中学高等学校、宮崎大学を卒業し、現在は脳神経内科医として勤務しています。臨床のみならず教育の現場でも貢献できるよう頑張ります。よろしくお祈りいたします。

宮崎大学医学部医療人育成推進センター

〒889-1692 宮崎市清武町木原5200番地

TEL:0985-85-8305 FAX:0985-85-7239 E-mail:ikyoku@med.miyazaki-u.ac.jp

医療人育成推進センターホームページ <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/iryujin/>



《HP》